

ICTスキルとデータサイエンス修得プログラム

本教育プログラムを修了すると身につくこと

必修科目を学ぶことで、**ICTスキル**と**データサイエンス**が同時に身につきます。本教育プログラムを終了すると学生生活に必要な文書作成、表計算などのICTスキルが身につきます。ICTスキルは、卒業後も、職場ではもちろんのこと、社会の様々な場面で活用できます。また、データサイエンスを学ぶことで、**ビッグデータ**や**AI**とともに生活する現代社会において、**知らないことによる様々なリスクを回避し、活用することに興味を持つ**ことができます。そして、社会でデータサイエンスを活用するための基礎的な能力が身につきます。



2重枠が本教育プログラムに係る科目。他はプログラム修了者向けの周辺科目。

モデルカリキュラム 「導入」、「基礎」、「心得」の内容を全て含むように本教育プログラムは編成されています。

導入	1. 社会におけるデータ・AI利活用	
	1-1. 社会で起きている変化	1-2. 社会で活用されているデータ
	1-3. データ・AIの活用領域	1-4. データ・AI利活用のための技術
	1-5. データ・AI利活用の現場	1-6. データ・AI利活用の最新動向
基礎	2. データリテラシー	
	2-1. データを読む	2-2. データを説明する
	2-3. データを扱う	
心得	3. データ・AI利活用における留意事項	
	3-1. データ・AIを扱う上での留意事項	3-2. データを守る上での留意事項

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムWebページより

プログラムの特徴

1. 大学の教育理念に基づいたプログラム設計

山梨学院大学では2021年度に教育理念を更新しています。本教育プログラムはその教育理念に沿うように教育内容、授業運営が設計されています。



山梨学院大学の教育理念

山梨学院大学は広い**国際的視野**を持ち**実践的な知識と技能**を備え創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成する

国際的視野（多様性への理解）

山梨学院大学の学生は、一般学生、スポーツアスリート学生、留学生など多様な学生から構成されています。学生が大学で学ぶ目的も多様です。本教育プログラムの**グループ学習**では、こうした学生が協力して学習し、お互いの考えを認め合って、**多様性**への理解を身につけます。

実践的な知識と技能

本教育プログラムでは、本学が社会科学系の学部を中心に構成されていることを考慮して、図表を多用して数式は必要最小限に絞り、授業内容を設計しています。また、各学部の学生の興味に応じた**実践的な知識と技能**を身につける時間を設けています。

2023年度からは、こうした内容を盛り込んで本学教員が滋賀大学データサイエンス学部と**共同執筆した教科書**を採用しています。

2. グループ学習を重視する

活用事例のグループ学習を通して、数理・データサイエンス・AIを**学ぶことの楽しさ**を体験し**将来に渡って学ぶ力**を身につけます。

3. 授業運営方法・成績評価の共通化

「ICTリテラシーA」、「ICTリテラシーB」、「データサイエンス」は複数の教員で担当しています。それぞれの科目で以下の工夫をしています。

- ・ **同一シラバス**、**同一運営方法**で授業を行っています
- ・ 成績評価のための基準が**統一**され厳格化されています。

4. 山梨県内の大学と連携

山梨大学が中心とり活動している山梨県内の大学の「数理・データサイエンス・AI教育連携にかかる**授業設計研究会**」に参加しています。